

0. 災害を特定する

(災害の種類、大きさと範囲)

岡山市ハザードマップで、自分の施設に及ぶ「災害の種類」、「大きさ」、「範囲」を確認しましょう。

①洪水ハザードマップ

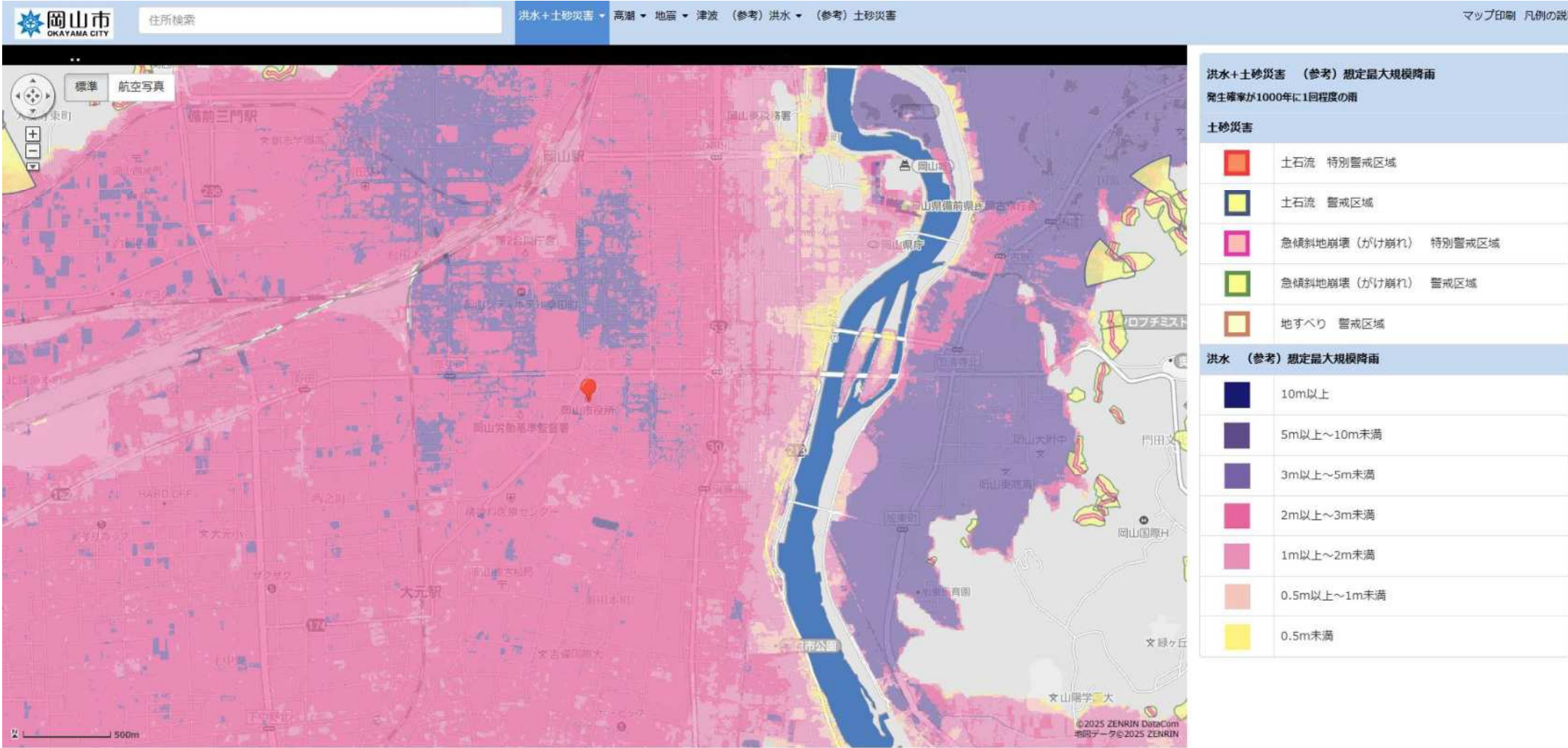
②土砂災害ハザードマップ

洪水・土砂ハザードマップ(想定最大規模降雨)



岡山市 ハザードマップ

検索



PC操作

洪水ハザードマップ(想定最大規模降雨)



洪水ハザードマップ(想定最大規模降雨)

WEB版ハザードマップの機能追加について

WEB版ハザードマップに以下の機能を追加しました。(令和7年6月19日)

- ・「洪水・土砂災害に関するマップ」及び「洪水に関するマップ」で浸水深が表示できるようになりました。
- ・「洪水・土砂災害に関するマップ」及び「洪水に関するマップ」の浸水ランクに「10m以上」を追加しました。
- ・地震に関するマップ(ゆれやすさ(震度)、液状化危険度、地震危険度)が表示できるようになりました。

WEB版ハザードマップの操作方法について(日本語版)

[WEB版ハザードマップの操作方法\(PDF形式、2.47MB\)](#)

日本語版

下記リンクよりアクセスしていただくことができます。

WEB版ハザードマップ(日本語)



スマートフォンからはこちらのQRコードを読み取っていただくことで日本語版サイトへアクセスすることができます。

「WEB版ハザードマップ(日本語)」を選択

英語版

下記リンクよりアクセスしていただくことができます。

[WEB版ハザードマップ\(英語\)](#)

「洪水+土砂災害に関するマップ」を選択



このページのお問い合わせ先

岡山市危機管理室

〒700-8546
岡山市北区徳田一丁目1番1号
TEL 086-803-1082

計画規模降雨に関するマップ

想定最大規模降雨に関するマップ(参考)

「想定最大規模降雨に関するマップ」を選択

このページのお問い合わせ先

岡山市危機管理室

〒700-8546
岡山市北区徳田一丁目1番1号
TEL 086-803-1082

岡山市WEB版ハザードマップ

確認事項

「岡山市WEB版ハザードマップ」のご利用に際しましては、あらかじめ**同意**を必ずご確認ください。
利用条件の全てをご確認のうえ、同意いただける場合は、ページ下の「同意する」ボタンを選択してください。
同意いただけない場合は、ページ下の「同意しない」のボタンを選択してください。

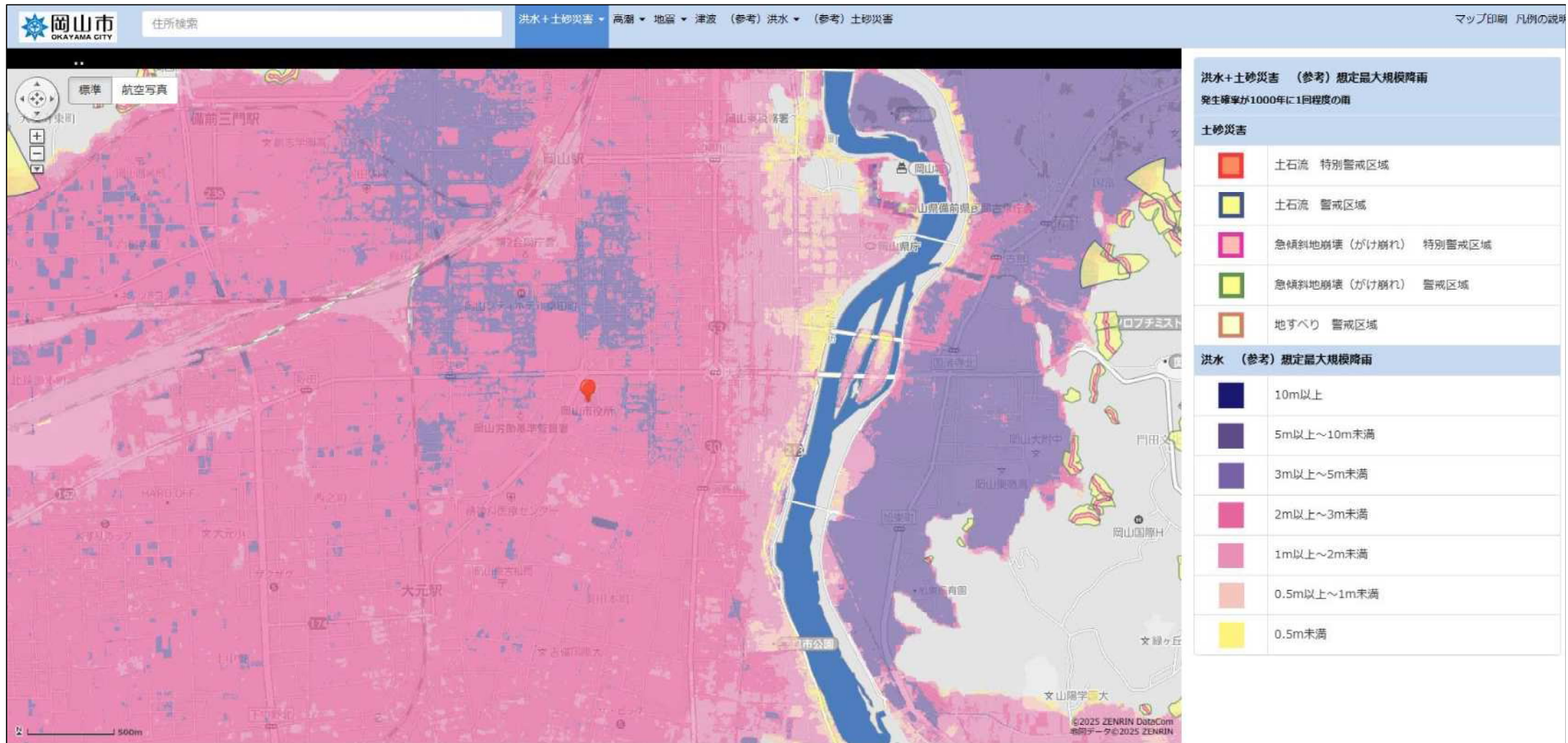
同意する **同意しない**

「同意する」を選択

このページのお問い合わせ先

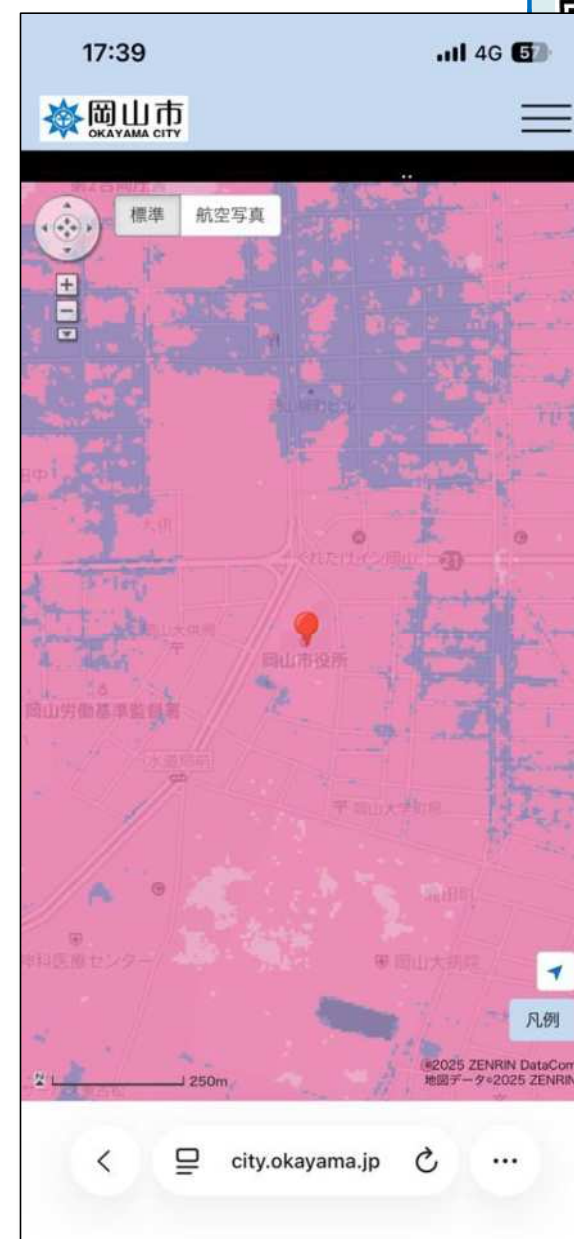
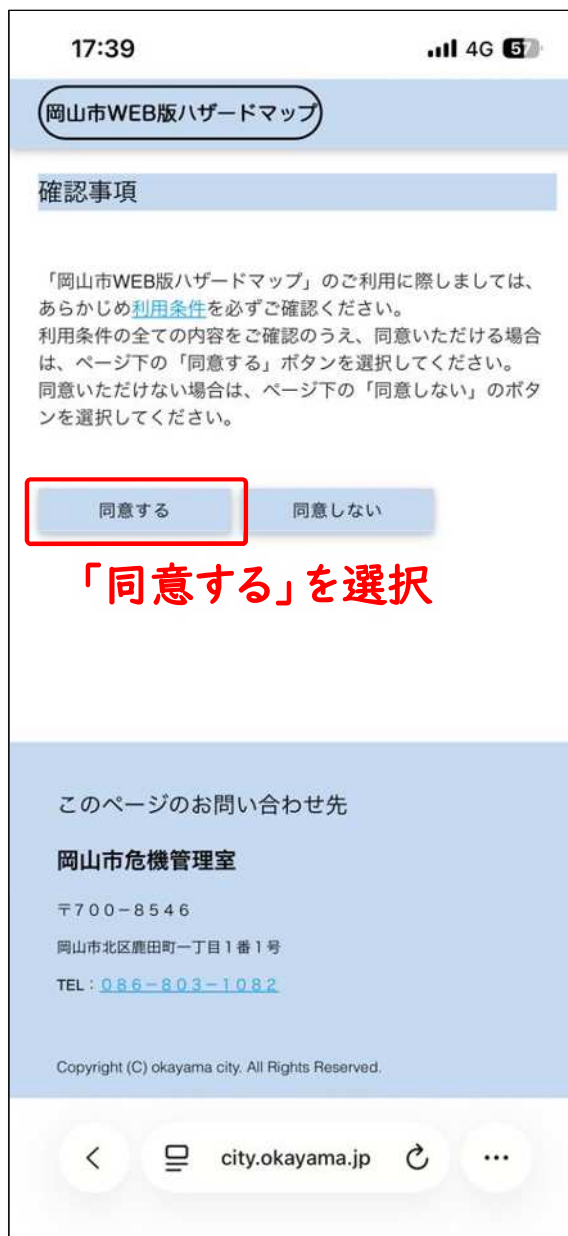
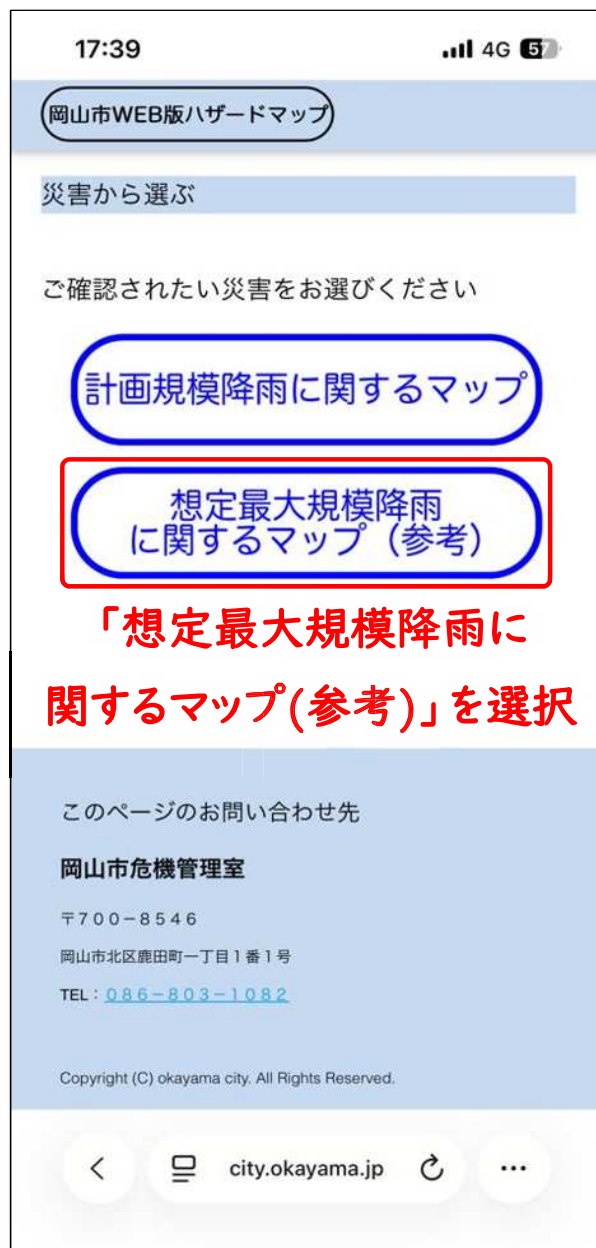
岡山市危機管理室

〒700-8546



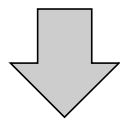
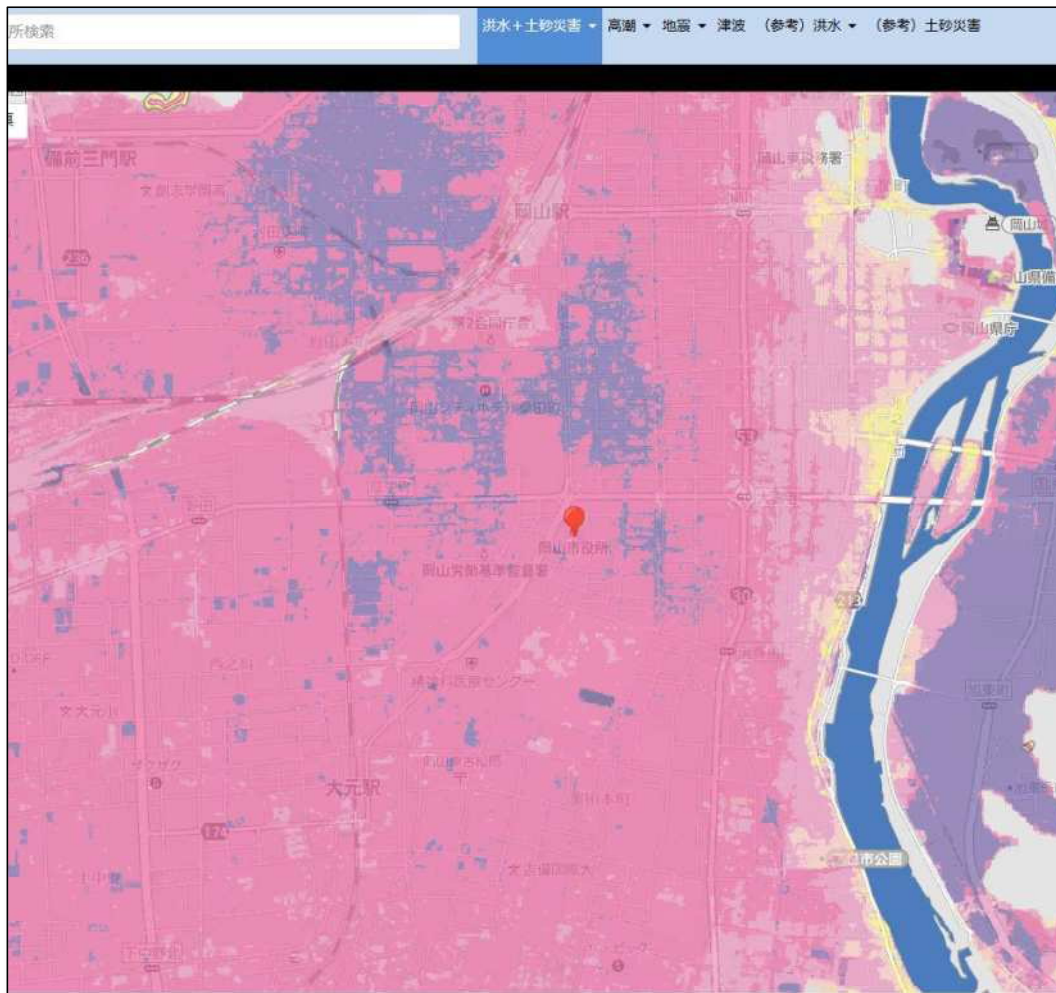






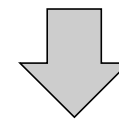
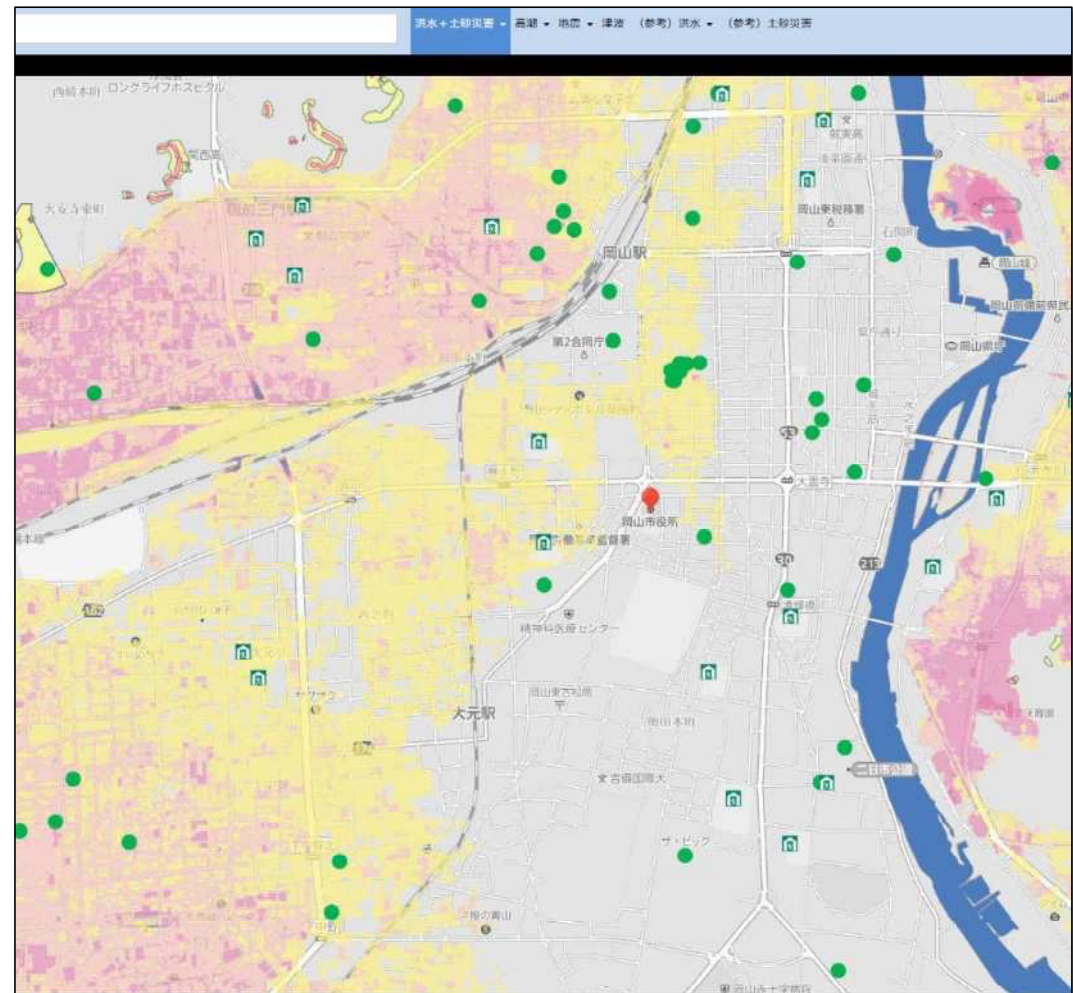
洪水ハザードマップ

【想定最大規模降雨】



浸水深を確認

【計画規模降雨】



避難場所を確認



洪水

【参考】施設周辺が浸水した場合の影響

- 施設が平屋建ての場合、3.0mの浸水で施設は天井付近まで浸かることになります。
- 浸水深が0.5mの場合でも、ほとんど歩けなくなるものと考えする必要があります。

0.5m.～3.0m. の浸水では…



1階軒下まで浸水

ドアが開かない

0.5m. 以下の浸水では…



1階床下が浸水

歩行困難



平成30年7月豪雨時の倉敷市真備町の状況

●2種類の想定

(※ハザードマップの浸水の深さと区域の違い)

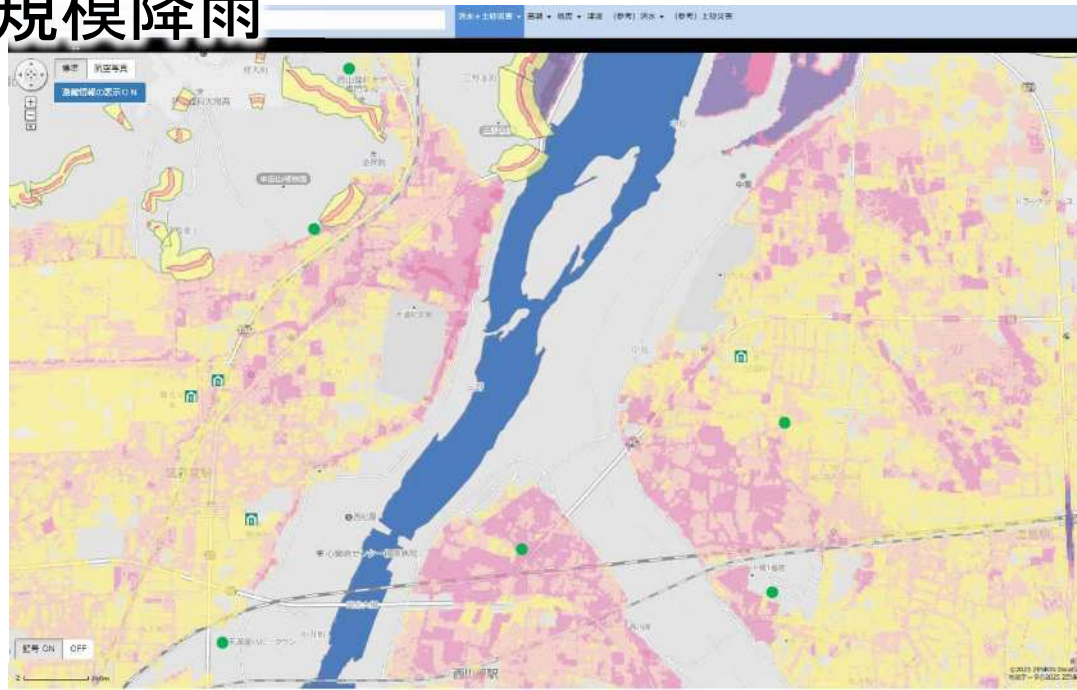
①計画規模降雨：河川整備の基本となる降雨

- * 旭川、百間川：概ね150年に1回程度の大雨(48時間に257mm)
- * 砂川(上道)：概ね100年に1回程度の大雨(24時間に228mm)
- * 笹ヶ瀬川、足守川、砂川(一宮)：概ね100年に1回程度の大雨(24時間に188.5mm)

②想定最大規模降雨

- * 旭川流域：概ね1000年に1回程度の降雨48時間に756mmを想定
- * 「洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」
- * 「洪水浸水想定区域図(浸水継続時間図)」
- * 「洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫区域図)」

①計画規模降雨



	地すべり 警戒区域
洪水 計画規模降雨	
	10m以上
	5m以上～10m未満
	3m以上～5m未満
	2m以上～3m未満
	1m以上～2m未満
	0.5m以上～1m未満
	0.5m未満

②想定最大規模降雨



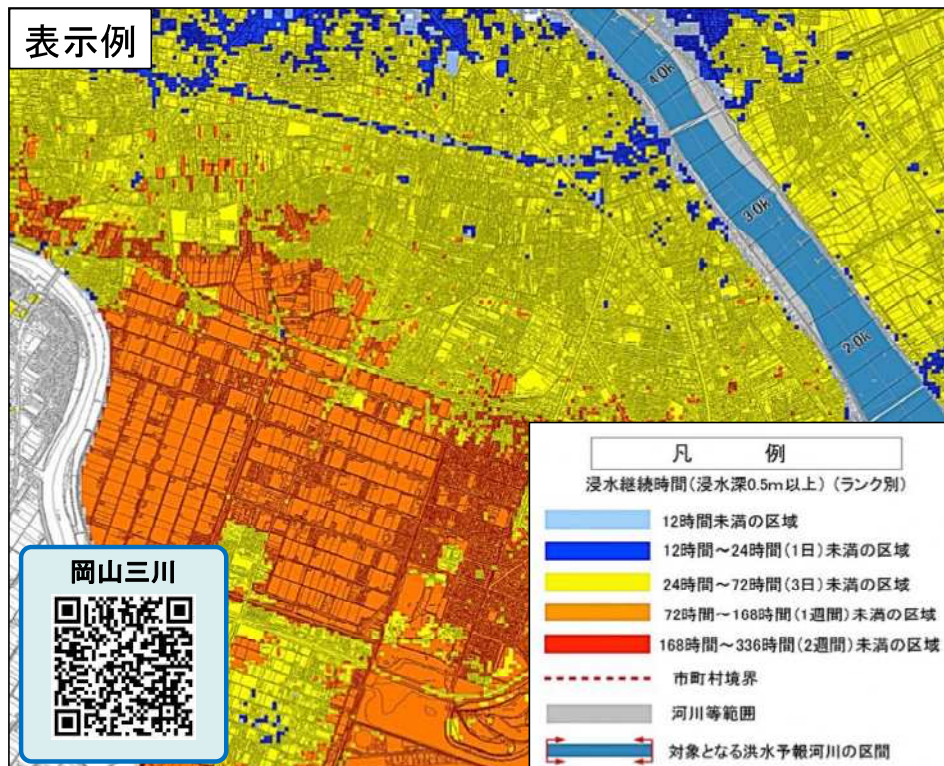
洪水 (参考) 想定最大規模降雨	
	10m以上
	5m以上～10m未満
	3m以上～5m未満
	2m以上～3m未満
	1m以上～2m未満
	0.5m以上～1m未満
	0.5m未満

＊水害リスクの最近の動向：浸水継続時間と家屋倒壊等のリスクを公表

- 水災害の激甚化による以下の恐れを踏まえ「浸水継続時間」「家屋倒壊等」のリスクが公表されています。これらは、避難行動・判断の参考になります。
- 洪水による浸水状態が続くことで「長期間にわたり孤立する恐れ」
- 水の流れの力が強い場合に「建物そのものが倒壊する恐れ」

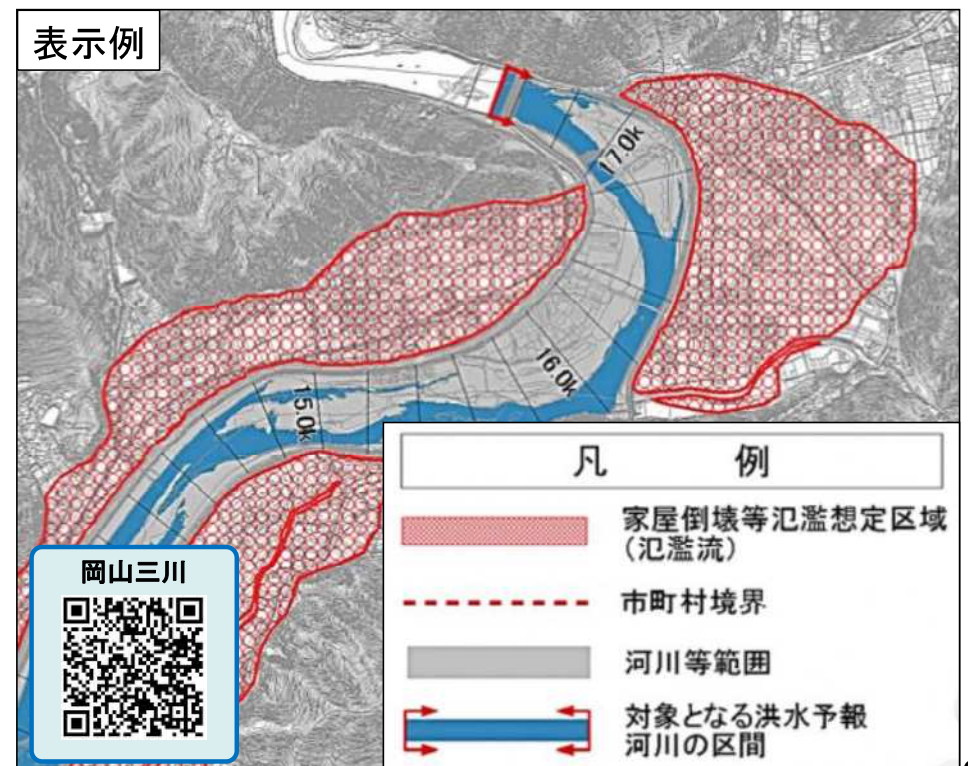
<浸水継続時間>

◇浸水深が50cmに達してから、その水深を下回るまでにかかる時間を示したもの



<家屋倒壊危険ゾーン>

◇洪水時に家屋が倒壊・流失する等の危険性が高い範囲を示したもの



土砂災害

*土砂災害について

■土砂災害の種類について

<土砂災害>

【崖崩れ】 背後等に急傾斜地(がけ)があり、降雨により崩壊し、被害のおそれがある場合

【土石流】 土石流が発生し、被害のおそれがある場合

【地すべり】 地滑りが発生し、被害のおそれがある場合

がけ崩れ



土石流



地すべり



＊土砂災害について

■土砂災害警戒区域等の指定

●土砂災害が起きそうな場所を
イエロー と **レッド** に分けて
みなさんにお知らせしています

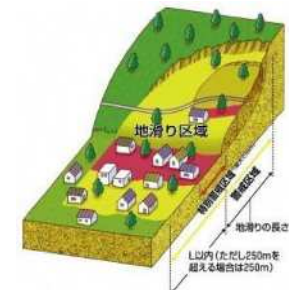
急傾斜地の崩壊



土石流



地すべり



土砂災害警戒区域

○土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域を指定

●情報伝達・警戒避難体制の整備【市町村等】

市町村地域防災計画において、土砂災害警戒区域ごとに、土砂災害に関する情報収集・伝達等その他警戒避難体制に関する事項について定める。

●ハザードマップの配布【市町村等】

警戒避難を確保する上で必要な事項を住民に周知させるため、避難地や情報伝達手段等を記載したハザードマップなどの配布等必要な措置を講じる。

土砂災害ハザードマップの作成・配布(茨城県銚田市)



住民の避難訓練状況(沖縄県浦添市)



土砂災害特別警戒区域

○土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域を指定

●特定開発行為に対する許可制【都道府県】

住宅宅地分譲や社会福祉施設、学校、医療施設の建築のための行為は、基準に従ったものに 限って許可される。

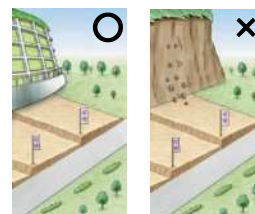
●建築物の構造規制【都道府県または市町村】

居室を有する建築物は、安全性を確保できる構造となっているかどうか、建築確認がされる。

●建築物の移転等の勧告【都道府県】

住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれが大きいと認めるときは、建築物の所有者等に対し、移転等の勧告の制度がある。

特定開発行為に対する許可制



建築物の構造規制



建築物の移転等の勧告



1. 計画の目的

2. 報告

3. 適用範囲

【様式1】 計画の目的・報告・適用範囲

様式	様式の目的	作成・検討時のポイント	チェック
様式1	計画の目的等を整理する	様式集(洪水)の記載を基本とする。	☐

①計画の目的を記入

様式編の「対象災害選択シート」より対象災害を選択すると自動的に作成可能

様式 1

1 計画の目的・報告

(1) 目的

この計画は、本施設の利用者の洪水時 ~~土砂災害の発生時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。~~

また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して、洪水 ~~土砂災害~~に関する知識を深めるとともに、訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。

関連法：水防法、~~土砂災害防止法~~

(2) 報告

計画を作成又は必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を岡山市長へ報告する。

②計画を作成したことを岡山市に報告する趣旨の文面を記載

【様式1】 計画の目的・報告・適用範囲

様式	様式の目的	作成・検討時のポイント	チェック
様式1	計画の目的等を整理する	様式集(洪水)の記載を基本とする。	☐

2 施設の概要

利用形態	通所	入 所	建物の階数	2	階
	○	○(長期、短期)			

※利用形態を記載

※入所には、長期・短期がわかるように記載

※建物の階数を記載

施設の人数

	平 日						休 日					
	利用者			施設職員			利用者			施設職員		
昼間	約	27(通所9)	名	約	9	名	約	18	名	約	6	名
夜間	約	18	名	約	2	名	約	18	名	約	2	名

※利用者数は最大の利用者数を記載（およその利用者数でもよい）

※昼間は通所部門と入所部門の合計人数を記載

※夜間は入所部門の人数を記載

施設利用者・職員人数の把握

想定される最大の人数を、平日と休日、昼間と夜間に分けて記載してください。

【様式1】 計画の目的・報告・適用範囲

様式	様式の目的	作成・検討時のポイント	チェック
様式1	計画の目的等を整理する	様式集(洪水)の記載を基本とする。	☐

3 施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を記載しましょう。

水害(洪水)

洪水浸水想定区域 (洪水)	☐ 該当なし	☒ 該当 最大浸水深	0.5m~3m未満
------------------	-------------------------------	--	-----------

←

土砂災害

土砂災害特別警戒区域	☒ 該当なし	☐ 該当 (以下の該当する分類に ☒)
土砂災害警戒区域		☐ がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)
		☐ 土石流
		☐ 地すべり(地滑り)